

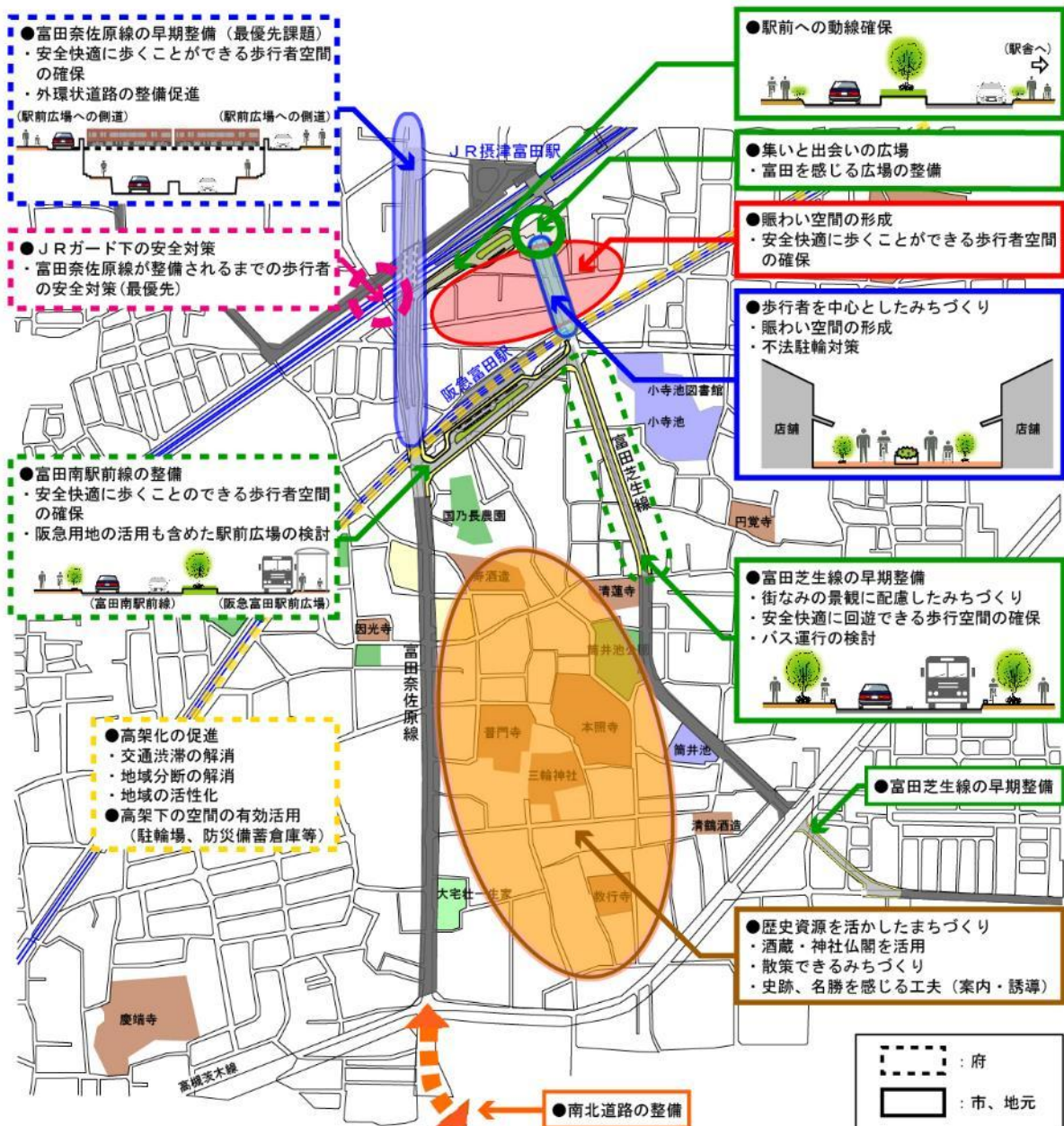
案件 2 富田地区のまちづくりについて

目 次

- 1 富田地区交通まちづくり基本構想について
- 2 公共施設再構築の更なる取組について

1 富田地区交通まちづくり基本構想について

富田地区交通まちづくり基本構想



※富田地区交通まちづくり基本構想：市が富田地区交通まちづくり研究会の成果を踏まえ平成21年4月に策定

まちづくりの基本方針

- 1 誰もが安全快適に歩けるまちづくり
- 2 駅周辺の賑わいと活力のあるまちづくり
- 3 歴史資源を活かしたまちづくり

1-1 鉄道の立体交差化の検討

(1) JR京都線茨木・高槻間

1) これまでの取組

① 概要

名 称	JR京都線茨木・高槻間における鉄道高架化勉強会
目 的	茨木・高槻間における交通及びまちづくりの課題解決に向け、鉄道高架化とまちづくりの可能性を検討
構 成 員	JR西日本、茨木市、高槻市 (オブザーバー) 大阪府、大阪国道事務所

② 検討範囲



③ 取組経過

年度	取組内容
平成 27 年度～ 令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道高架化勉強会を開催（第 1 回～第 11 回） ・高架化範囲を JR 総持寺駅～芥川間とし、茨木・高槻間のまちづくり課題、鉄道と道路の立体交差手法とその効果について検討 ○大阪府へ事業化の検討を要望
令和 2 年度～ 令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道高架化勉強会を開催（第 12 回～第 18 回） ・早期に抜本的な整備が求められる芥川橋梁の改築と鉄道高架化の同時施工の可能性について検討を開始し、整備効果を確認 ・高架化に合わせた関連道路事業等の整備効果を検証 ・芥川橋梁改築と鉄道高架化の同時施工の場合における工程の検討 ○大阪府へ事業化の検討を要望
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道高架化勉強会を開催（第 19 回） ・事業費縮減手法の検討 ○大阪府へ事業化の検討を要望

2) 今後の取組

今後も引き続き鉄道高架化勉強会を通じて、事業費の縮減、芥川橋梁改築や鉄道高架化による広域的なメリットの検証など、関係者とともに検討していく。

(2) 阪急京都線富田駅周辺

1) これまでの取組

年度	取組内容
平成4年度～ 平成9年度	・立体交差事業の実現に向けた調査・検討 対象踏切：桜ヶ丘、富田東、富田西、二本松
平成10年度	・大阪府が財政再建プログラムを発表（新規事業は当面困難）
平成13年度	・大阪府が富田西踏切を暫定拡幅
平成21年度	・富田地区交通まちづくり基本構想を策定し、基本構想に沿ったまちづくりを推進
令和2年度	・大阪府が府道摂津富田停車場線（阪急富田駅南側）の歩道を整備 ・市が（都）富田芝生線（清蓮寺～富田東踏切）を整備
令和6年度	・大阪府が富田東及び西踏切内に視覚障がい者誘導用ブロックを設置

2) 今後の取組

富田地区においては、踏切による交通渋滞をはじめ、歩行者の安全確保といった交通課題が長年大きな課題となっている。また、JR 京都線と阪急京都線との駅間も近いという現状も踏まえ、今般、富田地区全体を俯瞰した検討を進める中で、交通課題の解決やまちづくり効果を更に高めるためには、阪急京都線の踏切除却に向けた検討も必要であることから、改めて関係者とともに検討を行う。

1-2 富田まちなみ環境整備事業について

(1) 目的

地域が主体となった歴史的なまちなみの形成や維持に向けた取組を支援することにより、富田地区の魅力向上、交流人口の増加及び地区住民の愛着心の向上を図る。

(2) 概要

鉄道駅と歴史資源を結ぶ経路（右図、対象経路）に面する部分の修景基準に基づく工事費用や、市民団体等が実施する富田らしい歴史と趣のあるまちなみの再創出を目的とした活動に要する費用の一部を助成。

（３） 制度活用に向けた取組

富田まちなみ環境整備事業の活用に向け、対象経路の建物所有者を全戸訪問し、富田まちなみ環境整備事業の制度活用について周知活動を実施した。

また、更なる制度活用に向け、今後、支援の対象エリアの拡大を検討する。

